

2024年取組一覧(アフリカ)

エジプト

自動車部品の輸入検査に係るエジプト政府と日本企業とのワークショップ開催

タンザニア

第2回日タンザニア・ビジネス対話

自動車部品の輸入検査に係るエジプト政府と日本企業とのワークショップ開催 (エジプト)

実施日： 令和6年3月～4月

在エジプト大使館

主催(共催)：在エジプト大使館、輸出入管理庁 (General Organization for Export and Import Control、GOEIC)

関連企業：日本企業(輸出業者、メーカー)、エジプト企業(販売代理店)

【背景】

- 自動車用ベルトをエジプトに輸入するためには輸出入管理庁 (GOEIC) が実施するオゾン検査に合格する必要がある。日本企業はこれまで数十年に渡って問題なくベルトをエジプトに輸入していたにもかかわらず、昨年(令和5年)からこの検査に合格しないケースが増え、エジプトへのベルトの輸入に支障を来していた。

【在外公館の対応】

- オゾン検査の検査プロセスや検査不合格となった理由を明確にすべく、当館経済参事官とGOEIC長官との協議を実施した。
- 協議の結果、日本企業とGOEIC職員との間でワークショップを開催し、検査に係る詳細情報を説明しつつ技術的な議論を行うこととなった。

【結果】

- GOEICから計11名参加の上、日本企業(輸出業者、メーカー)、エジプト企業(販売代理店)、ジェトロカイロ事務所長を交えたハイブリッド形式のワークショップを開催。専門家同士でのみ可能な技術的・専門的な議論を実施した。
- 日本企業から大使館の支援に謝意が表明された。

【政府への働きかけ】

第2回日タンザニア・ビジネス対話(タンザニア)

開催日: 令和6年8月15日

場 所: ニエレレ国際会議場

参加企業・団体: 在タンザニア日本人会商工部会、タンザニア・シガレット・カンパニー(TCC)、
Baridi Baridi Tanzania、WASSHAほか在タンザニア日本企業

在タンザニア大使館

【背景】

- 日本企業は、タンザニアでの事業の立上げ及び実施に際し、査証・滞在許可証及び許認可の取得困難、徴税プロセスにおける透明性・公平性及び一貫性の不足、司法・警察の対応、汚職、市場での不公正な競争環境等の課題を抱えており、大使館は、個別企業の要望に応じ、政府関係当局との協議などを支援してきた。
- 2022年、TICAD8のフォローアップとして、タンザニア政府との間でビジネス環境改善委員会(ビジネス対話)の設立に合意。2023年5月に第1回ビジネス対話を開催し、翌年以降も継続することで合意。



【在外公館の対応】

- 第1回ビジネス対話以降、日本企業の要望に応じた個別の働きかけを都度行うとともに、日本企業に対しビジネス上の課題につきアンケート及びインタビューを定期的に行い、フォローアップした。
- 令和6年8月15日、第2回ビジネス対話を開催し、日本企業の代表、JICA、タンザニア政府(産業貿易省、歳入庁、出入国局、貿易開発庁、公正競争委員会、汚職防止撲滅委員会など)が出席した。日本企業から課題を提起し、タンザニア政府側から回答及び説明が行われ、フォローアップに向けた取組につき議論した。



【結果】

- 課題に対する双方の理解を深め改善に向けた具体的行動を検討するとともに、個別の企業が抱える課題を再度提起して対応を求める契機となった。

